

平成 25 年活動報告（留学生交流事業等） 高知大学

（事業名）第 3 回 SUIJI セミナー高知大会

（実施時期）平成 25 年 8 月 28 日（水）～30 日（金）

（事業概要）本学当番で 8 月 28 日（水）～30 日（金）に「第 3 回 SUIJI セミナー高知大会」を南国市のサザンシティホテルで開催しました。「大学は地域とどうかかわるのか（地域協働・サービスラーニング）」をテーマに各大学の教員、学生ら約 200 名が参加しました。

SUIJI(Six University Initiative Japan Indonesia)とは、2011 年に創設したインドネシア 3 大学（ガジャマダ大学、ボゴール農業大学、ハサヌディン大学）、四国 3 大学（愛媛大学、香川大学、高知大学）の 6 大学のコンソーシアムであり、熱帯地域における農業発展に関する教育研究を協働ですすめることを目指すものです。

8 月 29 日の午前中は、シンポジウム「地域との学び、地域からの学び：日本とインドネシアの連携による大学－地域間協働の展開」では、サービス・ラーニングとは何か、サーバント・リーダーとは何かについて考え方を探り、大学と地域社会との理想的な関わり方について提言がなされました。学生フォーラムでは、今後の SUIJI 学生ネットワークの在り方について話し合いが行われ、研究者フォーラムでは、現在の研究や共同研究の可能性について発表がなされました。

午後の学長フォーラムでは、社会協働教育の実践と SUIJI サービス・ラーニングの今後の方向性について SUIJI の各大学の学長から発表が行われ、最後に、今回のセミナーでの議論を踏まえ、6 大学長等による「サービス・ラーニングプログラムの覚書」と SUIJI の今後の行動計画を盛り込んだ「高知宣言」に署名が行われました。

なお、前日の 8 月 28 日には、SUIJI の運営に係る事項について協議が行われ、来年度はインドネシアのハサヌディン大学が当番でセミナーを開催することが決定されました。また、8 月 30 日には牧野植物園、高知城へのエクスカージョンが行われた。

今回のセミナーを通して、サービス・ラーニングや地域社会との協働に関する経験を共有し SUIJI の将来の発展について方向性を示すことができました。

（事業の様子）



(事業名) 外国人留学生課外研修

(実施時期) 平成25年11月9日(土)～10日(日)

(事業の概要) 平成25年度入学の外国人留学生を対象に愛媛県大洲市への1泊2日の課外研修を行いました。この研修は、外国人留学生が日本の歴史や文化を体験し、地域への理解を深めるとともに、留学生間の親睦・交流を図ることを目的としており、留学生43名、日本人学生ボランティア2名、引率の教職員10名が参加しました。

1日目の研修では、愛媛県大洲市の風の博物館で、風車の模型や風に関する展示を見学し、風洞実験機による風速15mの世界を体験。また、併設の歌麿館では、色彩の鮮やかな浮世絵や繊細で巧みな版画に魅了されました。

宿泊先の国立大洲青少年交流の家では、普段交流が比較的少なく距離のあるキャンパスの学生同士のほか教職員と、寝食を共にすることやグループワークでの仲間づくりなどを通して、交流を深めることができました。

2日目の研修では、明治時代の匠が残した臥龍山荘を見学し、茅葺屋根の農村風建物の部屋で細やかな細工と荒れた風情に日本のわびさびの文化を体感。また、自然と人工の調和を取り入れた石垣の石積みや日本庭園の借景美などを堪能し、ゆっくりとした時間を過ごしました。

参加した留学生からは、「日本の文化や伝統に触れることができた。」、「グループ活動で仲間を作ることができた。」などの感想があり、留学生にとって有意義なものとなりました。

(交流風景)



(交流会での様子)



(散策の様子)



(集合写真)



(施設見学時の様子)

(事業名) 2013 年度学長主催外国人留学生等交流懇談会

(実施時期) 平成 25 年 12 月 5 日

(事業の概要) 高知商工会館において、学長主催外国人留学生等交流懇談会を開催しました。外国人留学生等の入場の際には、脇口学長と菊地副学長によるおもてなしと歓迎の気持ちが込められた出迎えが行われました。また脇口学長による尺八演奏や留学生等によるステージパフォーマンスなどもあり、国を超えて楽しく歓談する様子があちこちで見られました。参加者 176 名。

(交流風景)



(留学生を握手で迎える脇口学長)



(演奏をするスウェーデンからの留学生)



(演奏をするモンゴルからの留学生)



(多言語で「幸せなら手をたたこう」を歌う留学生)